

父性文化と母性文化の特徴の比較

現実求められるのは、両文化のバランスであり、望ましい「度合い」だと思われます。
母性文化の潮流は、究極の破局に向かう現在の「力の文明」を母性文化に立脚した「和の文明」に転換するために不可欠なものであり、歴史的な意義がみとめられます。

	父性文化		母性文化
目標との関係			
	進歩	——	進化
	直進	——	循環
他者との関係			
	自己中心	——	連帯
	競争	——	調和
	対立	——	協調
	弱者切捨て	——	弱者への配慮
	排他性	——	開放性
	厳格	——	寛容
	ヒエラルキー	——	対等
自己実現との関係			
	知性重視	——	感性とのバランス
	強欲	——	少欲知足
	権力	——	哲学
目的達成手段			
	実力行使	——	対話
	トップダウン	——	ボトムアップ
	指揮統制	——	自発性
環境との関係			
	自然征服	——	共生〈トモイキ〉
頭脳との関係			
	左脳	——	右脳
その他			
	絶対主義	——	相対主義
	神	——	生命
	保守主義	——	革新主義
	原子力エネルギー	——	自然エネルギー
	独裁	——	民主主義